



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 株式会社中山製鋼所  
 コード番号 5408 URL <http://www.nakayama-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営本部長 (氏名) 阪口 光昭

TEL 06-6555-3035

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	27,497	25.3	811	32.5	813	35.8	916	5.5
2020年3月期第1四半期	36,817	1.8	1,202	9.3	1,266	6.1	970	19.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 987百万円 (12.2%) 2020年3月期第1四半期 880百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.93	
2020年3月期第1四半期	17.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	118,627	82,412	69.5	1,522.30
2020年3月期	119,445	81,750	68.4	1,510.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 82,412百万円 2020年3月期 81,750百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		4.00		6.00	10.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		3.00		3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当2円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	28.5	500	79.6	500	80.1	500	75.9	9.24
通期	106,000	22.2	500	88.9	500	88.7	500	82.8	9.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	63,079,256 株	2020年3月期	63,079,256 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	8,942,104 株	2020年3月期	8,942,094 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	54,137,159 株	2020年3月期1Q	54,137,493 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、経済活動は急速に悪化し極めて厳しい状況で推移しました。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましても、工場の停止が長期化している自動車産業の大幅減産や建築向け、産業機械向けの需要が減少傾向を続けるなど、鉄鋼需要は総じて弱含みで推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2019年度～2021年度）の方針に沿って、当社グループの協働施策やコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高274億97百万円（前年同期比93億19百万円減）、営業利益8億11百万円（前年同期比3億90百万円の減益）、経常利益8億13百万円（前年同期比4億53百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億16百万円（前年同期比53百万円の減益）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、主力の建築向け及び製造業向けの需要が大幅に減少したことを背景に鋼材販売数量が前年同期に比べ大幅に減少したことや、鋼材販売価格が下落したことなどにより、売上高は減収となりました。収益面では、鋼材販売価格が前年同期比で下落したものの、主原料であるスクラップ価格も下落したため鋼材スプレッドは改善しましたが、鋼材販売数量の減少に伴う収益悪化などにより、前年同期比で減益となりました。これらの結果、売上高は270億33百万円（前年同期比93億2百万円減）、経常利益は8億23百万円（前年同期比3億77百万円の減益）となりました。

エンジニアリングにつきましては、海洋部門において魚礁の受注減により減収となりましたが、鋳機部門の受注増や原単位改善効果などにより収益面では横ばいとなり、売上高は2億44百万円（前年同期比21百万円減）、経常損益は39百万円の損失（前年同期比1百万円の増益）となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は2億19百万円（前年同期比4百万円増）、経常利益は1億31百万円（前年同期比16百万円の減益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,186億27百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億17百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が減少したことによるものであります。

負債については、362億14百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億80百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が増加しましたが、未払金、賞与引当金及び長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産については、824億12百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億62百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、わが国経済においては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な中、生産活動の抑制が続き、消費は当面低迷することが予想されます。当社グループを取り巻く環境につきましても、国内需要の回復には時間を要する懸念もあります。

このような環境の下、当社グループは電気炉の生産性向上や加工ビジネスの強化など中期経営計画における諸施策を着実に実行し、収益改善を図ってまいります。

以上の状況を踏まえ、2021年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期（累計）は、売上高530億円、営業利益5億円、経常利益5億円、親会社株主に帰属する四半期純利益5億円を、通期は、売上高1,060億円、営業利益5億円、経常利益5億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日2020年8月4日に公表しました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,534	20,427
受取手形及び売掛金	26,521	24,966
電子記録債権	3,907	4,189
商品及び製品	11,554	10,302
仕掛品	1,946	1,769
原材料及び貯蔵品	8,525	8,270
その他	2,111	2,226
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	73,080	72,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,710	6,656
機械及び装置（純額）	9,749	9,666
土地	23,776	23,771
その他（純額）	1,342	1,568
有形固定資産合計	41,578	41,663
無形固定資産	243	232
投資その他の資産		
投資有価証券	1,890	1,986
差入保証金	1,869	1,869
その他	837	792
貸倒引当金	△54	△52
投資その他の資産合計	4,543	4,596
固定資産合計	46,364	46,492
資産合計	119,445	118,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,101	14,261
電子記録債務	491	594
短期借入金	3,062	3,015
1年内償還予定の社債	42	42
未払金	2,281	2,013
未払費用	1,219	1,231
未払法人税等	328	-
賞与引当金	808	357
環境対策引当金	124	126
解体撤去引当金	65	65
災害損失引当金	187	86
その他	1,418	1,116
流動負債合計	24,130	22,910
固定負債		
社債	111	111
長期借入金	4,547	4,322
繰延税金負債	2,862	2,913
再評価に係る繰延税金負債	1,113	1,113
環境対策引当金	466	465
解体撤去引当金	404	404
関係会社事業損失引当金	149	149
退職給付に係る負債	2,488	2,481
負ののれん	188	142
その他	1,231	1,200
固定負債合計	13,564	13,303
負債合計	37,695	36,214
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,826
利益剰余金	51,453	52,049
自己株式	△775	△775
株主資本合計	78,548	79,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	621
繰延ヘッジ損益	-	△0
土地再評価差額金	3,050	3,046
退職給付に係る調整累計額	△412	△400
その他の包括利益累計額合計	3,201	3,267
純資産合計	81,750	82,412
負債純資産合計	119,445	118,627

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	36,817	27,497
売上原価	32,445	23,792
売上総利益	4,372	3,705
販売費及び一般管理費		
販売費	1,604	1,357
一般管理費	1,564	1,536
販売費及び一般管理費合計	3,169	2,894
営業利益	1,202	811
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	50	29
負ののれん償却額	46	46
持分法による投資利益	30	40
その他	26	35
営業外収益合計	164	161
営業外費用		
支払利息	34	21
賃借料	37	37
工場事故関連損失	-	56
その他	27	45
営業外費用合計	99	160
経常利益	1,266	813
特別利益		
スクラップ売却益	90	85
災害損失引当金戻入額	-	60
固定資産売却益	3	1
災害による保険金収入	42	-
特別利益合計	136	147
特別損失		
災害による損失	3	12
固定資産除却損	18	6
環境対策費	61	3
その他	7	1
特別損失合計	90	23
税金等調整前四半期純利益	1,312	937
法人税、住民税及び事業税	211	5
法人税等調整額	130	15
法人税等合計	342	20
四半期純利益	970	916
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	970	916



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	970	916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	58
繰延ヘッジ損益	-	△0
退職給付に係る調整額	0	12
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△90	70
四半期包括利益	880	987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880	987
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	36,336	266	214	36,817	—	36,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	5	71	125	△125	—
計	36,384	271	286	36,942	△125	36,817
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	1,200	△41	148	1,308	△41	1,266

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金 額 (百万円)
報告セグメント計	1,308
セグメント間取引消去	△10
全社営業外損益(注)	△30
四半期連結損益計算書の経常利益	1,266

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	27,033	244	219	27,497	—	27,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	—	62	107	△107	—
計	27,079	244	281	27,605	△107	27,497
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	823	△39	131	915	△102	813

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金 額 (百万円)
報告セグメント計	915
セグメント間取引消去	1
全社営業外損益(注)	△104
四半期連結損益計算書の経常利益	813

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。